

提案

2019年度営業関連施策について（その2）

12月9日、会社は「2019年度営業関連施策について（その2）」を提案してきました。趣旨としては、安全・安定輸送を基礎に「目的地を創る」「駅を楽しく、魅力的に」「移動を楽しく、快適・便利に」の実現を目指し、活発な交流を創造し、地域を活性化するために、技術の進展や人口減少など、加速する経営環境の変化の中で、「駅」の仕事を変革し、社員一人ひとりが駅、お客さま、地域に価値を提供できる仕組みに変革していくことが重要である。また、グループ体でお客さまの信頼に応えるとともに、お客さまのご利用状況や当社の要員事情等を勘案しながら、効率的でより生産性の高い業務執行体制の構築により、鉄道を中心とした輸送サービスを質的に変革し、進化・成長させていくことが喫緊の課題であるとしています。内容については以下の通りです。

1. 実施箇所 神保原駅
2. 実施内容 駅業務の委託
3. 実施時期 2020年3月1日（日）
4. 要員関係

箇所	職種	標準数
神保原駅	管理	0
	営業	0

【確認事項】

- ①委託の考え方について
→今後ジョブローテーションで新入社員の配属は「駅」となっているが、新入社員の配属駅は確保していく。
- ②線閉関係について
→管理駅の本庄駅においてリモート操作を行っていく。本庄駅は作業ダイヤの変更が発生する。具体的内容については検討段階だ。
- ③委託後の体制について
→現行管理2、営業3で1徹1変であるが、今後はJESSと打ち合わせの上決定していく。
- ④なぜこの時期の提案なのか
→リモートの工事など準備が出来次第の提案となった。
- ⑤要員関係等の検討事項については、早急に決定していくことを確認しました。

この施策の全容を明らかにし

職場と仕事を直轄で残そう！！